

肝属郡医師会立病院の移転再整備に向けての

再整備基本計画決定

この地域の基幹病院としての役割を担っている、肝属郡医師会立病院の再整備に向け、昨年6月から検討を重ねてきた肝属郡医師会立病院整備基本計画が6月に正式決定されました。計画決定までに行われた住民説明会や、新病院の概要等についてお伝えします。



●肝属郡医師会立病院

1981年開設。地上4階建、病床数196床、診療科12科（内科、脳神経内科、外科、泌尿器科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、肝臓内科、血液内科、消化器内科、整形外科、眼科）

町内7会場で住民説明会の開催 及びパブリックコメントの実施

昨年3月に作成された「肝属郡医師会立病院施設再整備に向けた基本構想」に基づき、昨年6月から協議・検討を重ねられてきた基本計画案が、今年3月28日に開催された第5回基本計画策定委員会において取りまとめられました。

基本計画案の内容を住民の方々に共有すると共に意見や要望を多くの方から募集するため、住民説明会の開催及びパブリックコメントの募集を行いました。

住民説明会は両町の住民を対象に4月20日から5月12日まで開催されました。錦江町では7会場で開催さ

れ91名の方に参加いただき、両町住民の方から130件余りの意見や要望がありました。説明会の中では、「紹介状がなくても診療して欲しい」や

「診療科を充実して欲しい」などの要望もあり、事務局から「新病院では紹介状がなくても柔軟に対応する」、「診療科の充実については、医師不足の中、難しい問題だが粘り強く取り組んでいく」との回答がありました。

併せてパブリックコメントの募集（4月20日から5月19日まで）を行い、1件のご意見がありました。住民説明会やパブリックコメントでいただいた意見や要望などへの回答は、事務局の考えを記載したものをホームページで掲載しております。

議会や検討委員会での議論を経て、再整備基本計画が決定

5月24日には錦江町・南大隅町の町議会議員合同による全員協議会が開催され、基本計画案や住民の方からの意見を基に協議が行われました。建設費や医療機器が高騰した場合の対応、施設規模が適正なのか、医師の確保などについて議論が交わされ、両町議会が基本計画案を承認。

6月2日には第5回南隅地域のたの医療介護の姿検討委員会が開催され、委員に任命された19名が、これまでの経緯や住民の方からの意見や要望などを踏まえた上で審議を行い、「肝属郡医師会立病院再整備基本計画」が決定されました。

新病院は今後の人口減少にも対応できる効率的な病院を目指す

新たな病院は、これまで担ってきた救急患者の受入れなどの病院機能は維持しながら、回復期を軸とした診療の充実を図るとともに、地域の医療ニーズにあった診療を行うため、総合内科の機能強化や透析など専門診療や健診（検診）事業の強化を図っていきます。また、人口減少にも対応するため、病院の規模を現在の196床4病棟体制から、132床3病棟体制に縮小し整備します。

誰もが安心安全で利用しやすい患者中心の病院づくりを行い地域住民に信頼され、安心して医療を受けられる病院を目指し整備を行います。

新病院の概要

場所	錦江町城元（所在地：錦江町神川）
敷地面積	15,768㎡（現行：9,843㎡）
病床数	地域包括ケア病棟 50床 （現行：58床 ※一般病棟（地域包括ケア15床を含む））
	障害者施設等病棟 47床（現行：102床 ※2病床）
	療養病棟 35床（現行：36床）
	計 3病棟 132床（現行：196床 ※4病棟）
診療科 （13診療科）	内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器内科、肝臓内科、整形外科、眼科、泌尿器科、透析内科
建物規模	延床面積：9,200㎡（現行：9,531㎡） 建物階数：3階建（現行：4階建）
整備費合計	5,870百万円

※地域包括ケア病棟とは

急性期治療が終了し、病状が安定した患者さんに対して在宅への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。

事業スケジュール

	2022年 (R4)			2023年 (R5)			2024年 (R6)			2025年 (R7)			2026
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
設計業者選定 DB業者選定	→	→											
基本設計		→	→										
実施設計				→	→								
施工業者選定							→						
建設工事								→	→	→	→	→	
開院													開院時期 1月◎
													開院時期 6月◎

※上段の矢印は、設計・施行分離方式（一般的方式）

下段の矢印は、設計施工一括発注方式（開院時期最短）

病院整備に着手して令和7年度中の開院を目指す

今後は、建物の大まかな仕様を決める基本設計に着手し、その後、基本設計を基に詳細部分を決める実施設計を実施。設計完了後に、病院の建設工事に着手していきます。

上記のスケジュールには「設計・施行分離方式」と「設計施工一括発注方式」による期間の相違を記載。どちらの方式にもメリット・デメリットがあり、発注条件に合致するものを採用して進めていきます。

2018年に移転建替えの要望書を受け、約4年半。令和7年度中の開院を目指し、いよいよ本格的な整備建設に向け進んでいきます。

2018.1 移転建替の要望書を受理

2018.9 町内7会場で座談会開催

2018.12 病院施設見学ツアー開催

2019.9 医療介護の姿シンポジウム

2020.7 基本構想の策定を業務委託

2021.3 基本構想を策定

2021.6 基本計画策定委員会発足

2022.3 再整備基本計画案取りまとめ



2022.4 2町で住民説明会開始



2022.5 両町議会合同の協議会



2022.6 医療介護の姿検討委員会

